

11 児童・生徒指導部会	部会テーマ	児童生徒の主体的な成長・発達を支えるために～教師が大切にしたいカウンセリングマインド～
内 容	生徒指導提要で示されている、児童生徒の主体的な成長・発達を支える生徒指導をすすめていくには、教師がカウンセリングマインドを身に付け、児童生徒を理解し関係を築いていくことが大切である。本部会ではそのための重要な要素である「きく」ことに焦点を当て、私たち教師が心掛けたい姿勢について実践発表をもとに考える機会とする。	
部 会 担 当	涌井 紀子 (総合教育センター)	

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

**説明** 児童生徒の理解を深めるカウンセリングマインド

**9時55分～10時15分**

総合教育センター教育相談部 澁谷 景子

教師がカウンセリングマインドを意識して児童生徒の声に耳を傾け、受容・共感することは、児童生徒の理解を深めることにつながる。そのために大切なことについて、現時点での調査研究のまとめを報告する。

**発表①** 生徒の心の声をきく

**10時20分～10時50分**

宇都宮市立星が丘中学校 水井 知美

保健室には、日々、様々な主訴で多くの生徒が来室しているが、近年は身体的症状の背景として、心的要因が大きく関係している事例が増えている。心的要因の中でも特に家族関係の悩みを抱える生徒が多く、発する言葉だけでなく、表情や仕草などの心の声に耳を傾けて取り組んだ本校の事例について発表する。

**発表②** きく力は語らせる力

**10時50分～11時20分**

県立宇都宮中央女子・宇都宮中央高等学校 井澤 英里

生徒が自分の思いを言葉にできたとき、次の一歩が踏み出せるように感じる。そして思いを言葉にするためには、それを「きく人」の存在も重要である。生徒同士で互いに「きく」「語る」ができるように、授業や日常生活で心掛けていることや行っている取組について発表する。

**質疑等**

**11時20分～11時30分**